
瞳の中の別世界

六参壱八

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

瞳の中の別世界

【Nコード】

N3332N

【作者名】

六参壱八

【あらすじ】

幼い頃から別の景色が重なって見えることがある左目を持つ高校生。ある日重なって見えていた場所へとワープしてしまう。

そこは元居た世界とは別の世界で魔物や異能者と呼ばれる不思議な力を持った人や果ては神様までいる異世界だった。

明は元の世界に戻るためにこの世界に来る原因となったであろう左目の謎を追って命を張って異世界を旅することに……

果たして左目の秘密とは？！ 明は元の世界に戻ることが出来るのか？！

プロローグ 17年前

「……なぜ争うの？」

炎の中に佇む少女は静かに呟く。周りには10人ほどの鎧を着た男達が剣を構えて囲っていた。

「おい、この子も殺すのか？」

「ああ、この村の人間は皆殺しにしろ命令が出る。可哀想だがこの子にも死んでもらう」

そう言う男の一人が少女を押し倒し馬乗りになり少女に剣を突きつけ悲しそうな表情を浮かべながら呟いた。

「ごめんよ、お嬢ちゃん。痛いのは一瞬だからね」

男は剣を振りかぶり少女に剣を突き刺した。

……かの様に見えた。確かに剣の鏑は少女の胸に届いているが、血が一滴たりとも出ておらず、そもそも少女の体よりも長かった刀身が少女の中に収まっているはずも無い。

男が剣を上げると鏑から先の刀身が跡形無く消滅していた。

「消えて」

少女が呟くと馬乗りになった男の体が青い炎に包まれ悲鳴を上げる間も無く消滅し、柄だけとなった剣が床へ落ち、カランと乾いた音を辺りに響かせる。

そして少女は何事も無かったかのようにその場に起き上がった。

残った男達は何が起こったのか理解できずその場に立ち尽くしていたが少女が起き上がったのを見て危険を察知したのか全員剣を構えた。

「こいつ……異能者か！」

「誰か本隊に救援を遣すように言ってくれ！ この人数だけで異能者を相手にするのは不可能だ！」

「了解しました！」

男の一人が少女の周りを離れ走り去ろうとしたが、

「……消えて」

少女が呟くだけでその男も青い炎に包まれた。

「ひっ、助け……」

男はそこで体が消滅した。

再び男達は沈黙、いや絶句した。

少女は今度は目の前の男を見る、それを確めた少女の真後ろに居た男はすかさず少女に切りかかる。

「……みんな消えて」

少女が呟く、それだけで目の前の男や切りかかって来た男だけでなく周りに居た男達全員が青い炎に包まれ悲鳴を上げる間も無く消えていく。

「ただで死んでたまるか！！」

切りかかろうとしていた男が最後の力を振り絞り、持っていた剣を少女に投げる、少女はそちらを振り向き、飛んでくる剣に驚愕する、咄嗟の事なので自分の力のことも忘れ回避する。

しかし、かわし切れずその剣を左目を顔の左側を左目と共に切り裂き、カランと乾いた音を響かせ地面に落ちた。

「……………」

少女の左目からぽたりと赤い雫が落ちる。少女は何も言わず、痛がる様子も無くその場を立ち去った、何もかもが破壊された17年後、忘却の村と呼ばれる場所から……………」

ブログ〱17年前〱（後書き）

初めまして六参壱八むざんいちはといひます。

初投稿なので至らない点などがあると思ひますがこれからよろしく
お願ひします。

更新スピードは遅いかもしれません

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3332n/>

瞳の中の別世界

2010年10月9日12時28分発行